

障がい者理解・啓発授業の実施について

小中学生を対象に、障がいに対する理解の促進を目的とした啓発授業を毎年実施しています。

1 令和3年度の実施内容

東綾瀬中学校	全校生徒（通常学級 549 人、特別支援学級 11 人）を対象に校内放送を用いて授業を実施
鹿浜菜の花中学校	啓発リーフレットの配布、総合学習の授業で「障がい者理解のための啓発授業（講座）ポイント」を説明。
本木小学校	

（※上記3校はいずれも人権尊重教育推進指定校）

◇東綾瀬中学校の感想文から抜粋◇

- ・人は皆違うものなので、個性を認め合い、差別の無い世界にしていきたいと思いました。
- ・私のまわりにも何人か障がいをもった人がいるけど、どうサポートしていいのかわからないのか、どう接すればいいのかわからなかったけど、今日教えてもらったことや、パンフレットにのっていたことを参考にしてみたいと思いました。
- ・視覚、聴覚、精神、肢体などの障がいがあるのは知っていたけれど、内部障がいは知りませんでした。

2 令和4年度の実施状況

花畑小学校 （3年生）	啓発リーフレットの配布、DVDの視聴、障がい者理解の説明と車椅子乗車・介護体験
梅島第一小学校 （4年生）	啓発リーフレットの配布、障がい者理解の説明と車椅子乗車・介護体験

3 令和5年度の実施状況

西新井小学校 （3年生）	啓発リーフレットの配布、DVDの視聴、障がい者理解の説明と車椅子乗車・介護体験
-----------------	---

～過去の小学4年生の感想文から～

- ・「障がいは不便です。でも不幸ではありません」という言葉の意味が分かった気がします。
- ・車いす体験が一番心に残りました。